



2024年3月9日 土曜日

## 開会あいさつ

大会顧問 下村 正洋 氏 に2日目の開会のご挨拶を頂きました。



## 各地関連シンポジウムプレゼンテーション

「情報セキュリティワークショップ in 越後湯沢」について、大会副委員長 花田 経子 氏、落合 博幸 氏にご紹介いただきました。情報セキュリティワークショップ in 越後湯沢 2024 は、NASPA ニューオータニで2024年10月10日（木）～11日（金）で開催される予定です。詳細は今後更新される公式 Web、公式 FB をチェックして下さい。



「サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム」の石井 秀幸 実行委員長から和歌山で開催されているシンポジウムのご案内を頂きました。次回、第28回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウムの SecDogo Digest, サイバーセキュリティシンポジウム道後 2024

会期は2024年7月4日（木）～6日（土）で開始されます。



「サイバー防衛シンポジウム熱海」の嶋山 浩明 実行委員長からシンポジウムのご案内を頂きました。サイバー防衛シンポジウム熱海2024は、熱海後樂園ホテルで2024年8月31日（土）～9月1日（日）の開催です。協賛企業様の募集は3月25日から開始する予定です。一般参加者の募集は6月上旬を予定しています。



「九州セキュリティシンポジウム実行委員」の三宅 康夫 副委員長からシンポジウムのご案内を頂きました。2024年3月18日～19日において鹿児島で第4回九州サイバーセキュリティシンポジウムが開催されます。



## 講演（２）

テーマ「わかる！CYNEX ～ つながる日本のサイバーセキュリティ ～」というタイトルで、講師 井上大介 氏（国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）サイバーセキュリティ研究所 副研究所長）からご講演を頂きました。



日本のセキュリティ製品の自給率は低く多くの海外の製品に依存しています。また、セキュリティに関連したデータは国内だけでは集めにくい状況で、情報を生成、蓄積、提供できる環境が必要です。このような背景のもとで、サイバー攻撃に関連するデータとセキュリティ人材育成のためのセキュリティ基盤組織の構築を目指して産官学の結節点である「CYNEX」が作られました。

4つのサブプロジェクト「Co-Nexus」を並行して行っており、STARDUST、WarpDriveなどの各種観測機構を活用しサイバーセキュリティ情報を収集・蓄積する「Co-Nexus A」、SOC人材の育成拠点を形成する「Co-Nexus S」、国産セキュリティ製品の創出と普及を支援する「Co-Nexus E」、民間事業者や教育機関におけるセキュリティ人材育成事業の促進を目指す「Co-Nexus C」についてご紹介していただきました。

講演では、STARDUST観測、WarpDriveプロジェクト、IoTファジング技術、Cyrop演習教材利用、などが紹介されました。現在は、Project>LETTICEという脅威情報の分析チームの活動や、セキュリティ情報融合基盤CUREのCo-Nexus A/S向け開放の準備を行っています。CYNEXへの参加など詳細は事務局までご連絡ください。